

会派名 志翔会 支出調書

代表者	経理責任者	起案者
		

区分	事由	費目				金額	小計	
1	調査研究費	行政調査(藤枝市・奈良市・米原市)旅費	交通費	旅費	1,186,920	自動車燃料費	1,186,920	
			資料作成費	調査委託費		振込料		
2	研修費		会場費	講師謝金		出席者負担金・会費		
			交通費	旅費		自動車燃料費		
			資料作成費	食糧費		振込料		
3	広報費		会場費	交通費		自動車燃料費		
			資料作成費	広報誌(紙)		報告書等印刷費		
			送料(折込料含む)	ウェブページ掲載代		茶菓子代		
			振込料					
4	広聴費		会場費	交通費		自動車燃料費		
			資料作成費	茶菓子代		振込料		
5	要請・陳情活動費		交通費	旅費		自動車燃料費		
			資料作成費	振込料				
6	会議費		会場費	交通費		自動車燃料費		
			資料作成費	振込料				
7	資料作成費		印刷製本費	翻訳料		筆耕料		
			振込料					
8	資料購入費		法規追録代	参考図書代		新聞(日刊紙)購読料		
			雑誌等購読料	有料データベース等利用料		振込料		
9	人件費		賃金	社会保険料等		振込料		
10	事務所費		備品購入費	事務機器等リース代		消耗品等事務費		
			印刷代	振込料		配送手数料		
11	通信運搬・自動車燃料費		電話料等(按分)	郵便料等		自動車燃料費(按分)		
			その他					
使用者	佐藤 徹哉 	支出年月日	平成29年12月25日		現金出納簿 支出番号	59	合計	1,186,920 円

出張（調査等）申請書兼旅費請求書

支出番号 59

会 派 会 長 様

申請代表者氏名 佐藤 徹哉





下記の用務により出張（調査等）したいので申請するとともに、旅費を請求いたします。

記

請求金額	1,186,920 円（1人あたり 98,910 円） ※別紙、旅費計算書のとおり	
目的	行政調査	
用務先	藤枝市、奈良市、米原市	
内容	藤枝市：藤枝市産学官連携推進センターについて 奈良市：奈良市ポイント制度について 米原市：地域お茶の間創造事業について	
期間	平成30年 1月 29日 ～ 平成30年 1月 31日（2泊3日）	
行程	別紙のとおり	
出張（調査等）者氏名	・佐藤政喜	・塩田義知
	・鈴木佑治	・川前光徳
	・大内嘉明	・佐藤徹哉
	・七海喜久雄	・大木進
	・久野三男	・佐藤栄作
	・諸越裕	・馬場大造
特記事項	なし	

上記のとおり出張（調査等）を許可します。

会派会長	経理責任者		受理日	H29年12月25日
			許可日	H29年12月25日
			支出日	H29年12月25日

上記金額を受領しました。

平成29年12月25日

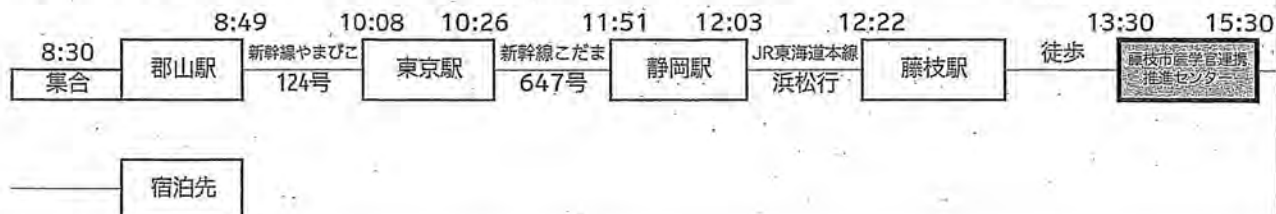
申請代表者氏名 佐藤 徹哉



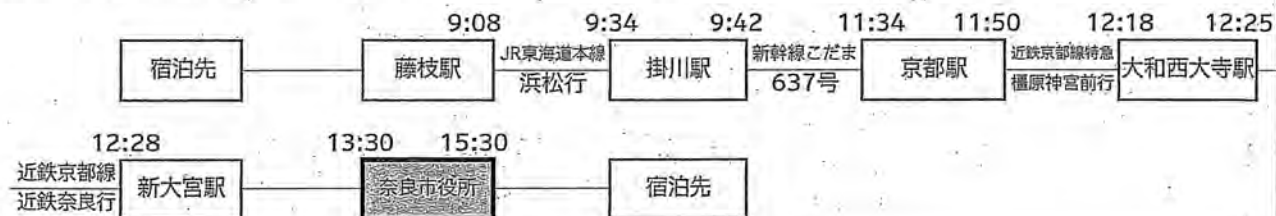
# 平成29年度 志翔会行政調査行程表

## 1 行程

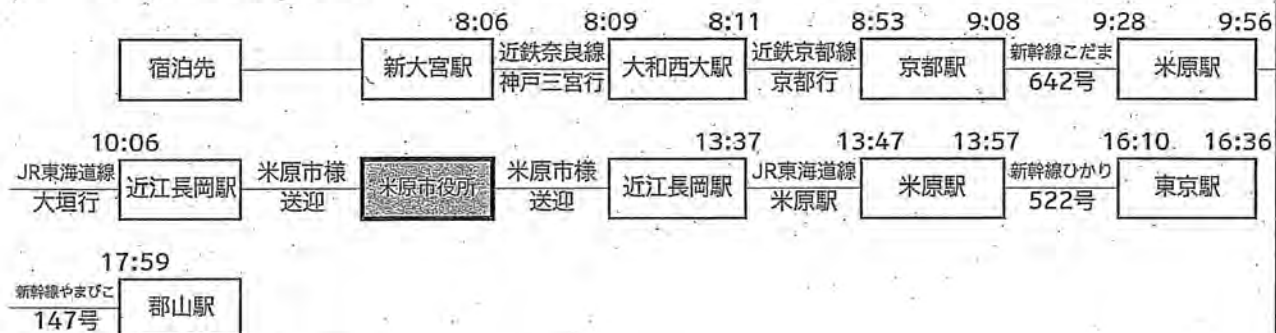
□ 1日目：平成30年1月29日（月） 藤枝市：藤枝市産学官連携推進センターについて



□ 2日目：平成30年1月30日（火） 奈良市：奈良市ポイント制度について



□ 3日目：平成30年1月31日（水） 米原市：地域お茶の間創造事業について



## 2 調査者

12名

佐藤 政喜	議員	(議長)
鈴木 祐治	議員	
大内 嘉明	議員	
七海喜久雄	議員	(会長)
久野 三男	議員	
諸越 裕	議員	
塩田 義智	議員	
川前 光徳	議員	
佐藤 徹哉	議員	
大木 進	議員	
佐藤 栄作	議員	
馬場 大造	議員	

## 3 調査項目

- (1) 平成30年1月29日（月） 13:30~15:30  
藤枝市役所  
・藤枝市産学官連携推進センターについて
- (2) 平成30年1月30日（火） 13:30~15:30  
奈良市役所  
・奈良市ポイント制度について
- (3) 平成30年1月31日（水）  
米原市役所  
・地域お茶の間創造事業について

## 4 連絡先

- 藤枝市議会事務局（担当：青島様）  
〒426-8722 藤枝市岡出山1-11-1  
TEL 054-643-3552 FAX 054-646-2030
- 奈良市会事務局（担当：神戸様）  
〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1-1  
TEL 0742-34-4790 FAX 0742-35-3022
- 米原市議会事務局（担当：タガワ様）  
〒521-0292 米原市長岡1206  
TEL 0749-55-8111 FAX 0749-55-8007

## 5 その他

# 行政調査旅費計算書

会 派 名：志翔会

参加議員：佐藤政喜、鈴木祐治、大内嘉明、七海喜久雄、久野三男、諸越裕、塩田義智、川前光徳、佐藤徹哉、大木進、佐藤栄作、馬場大造

日 程：平成30年1月29日(月) - 31日(水)

行 先：藤枝市産学官連携推進センター(静岡県藤枝市前島1-7-10)  
奈良市役所(奈良県奈良市二条大路南一丁目1-1)  
米原市役所山東庁舎(滋賀県米原市長岡1206)

1月29日	郡山駅	東 京 駅	静岡 岡 駅	藤 枝 駅						
	やまびこ 124号 226.7	こだま 647号 180.2	JR 東海道本線 20.1							
運 賃	10,480		※1							10,480
急行料金	3,680	2,480								6,160
グリーン	3,090	2,750								5,840
実 費										0

※1 郡山ー京都で運賃計算

1月30日	藤 枝 駅	掛 川 駅	京 都 駅	大 和 西 大 寺 駅	新 大 宮 駅					
	JR 東海道本線 29.0	こだま 637号 284.3	近鉄京都 線特急 34.6	近鉄京都 線急行 2.7						
運 賃	※1		620							620
急行料金		3,340								3,340
グリーン		4,110								4,110
実 費										0

1月31日	新 大 宮 駅	大 和 西 大 寺 駅	京 都 駅	米 原 駅	近 江 長 岡 駅	米 原 駅	東 京 駅	郡 山 駅
	近鉄 奈良線 2.7	近鉄 京都線 34.6	こだま 642号 67.7	JR 東海道本線 10.7	JR 東海道本線 10.7	ひかり 522号 445.9	やまびこ 147号 226.7	
運 賃	620		※2	※3	※3	10,480	※2	11,100
急行料金			2,050			4,540	3,680	10,270
グリーン						5,300	3,090	8,390
実 費								0

※2 京都ー郡山で運賃計算

※3 米原市の基点が米原駅のため、山東庁舎(最寄駅:近江長岡駅)までは交通雑費で対応

交通費	60,310		60,310
日 当	3,000 ×	3日 =	9,000
宿泊費	14,800 ×	2泊 =	29,600
合 計			98,910 円

× 12名 = 1,186,920 円

出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号 59

会 派 会 長 様



下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。

出張（調査等）議員名

・佐藤政喜		・塩田義知	
・鈴木佑治		・川前光徳	
・大内嘉明		・佐藤徹哉	
・七海喜久雄		・大木進	
・久野三男		・佐藤栄作	
・諸越裕		・馬場大造	

記

期 間	30年 1月 29日 ~ 30年 1月 31日（1泊 2日）					
目 的	行政調査					
用 務 先	藤枝市：藤枝市産学官連携推進センターについて					
	奈良市：奈良市ポイント制度について					
	米原市：地域お茶の間創造事業について					
行 程	別紙行程表のとおり					
内容及び成果	別紙報告書のとおり					
旅 費 精 算	受領額	1,186,920 円	精算額	1,186,920 円	返納額	0 円

上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。						
会 派 会 長	経 理 責 任 者			受 理 日	H30 年 2 月 5 日	
				確 認 日	H30 年 2 月 5 日	
				精 算 日	H30 年 2 月 5 日	

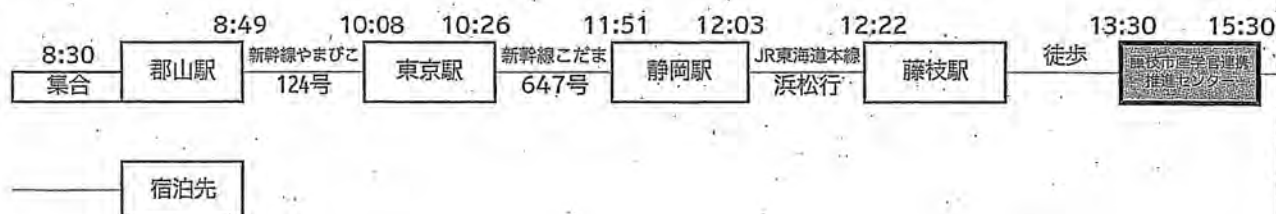
※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

# 平成29年度 志翔会行政調査行程表

## 1 行程

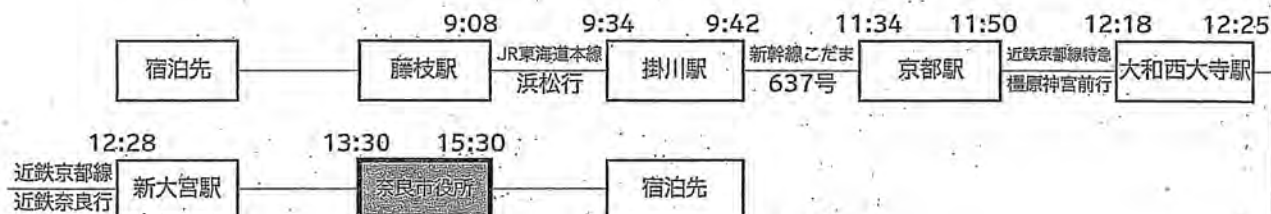
□ 1日目：平成30年1月29日（月）

藤枝市：藤枝市産学官連携推進センターについて



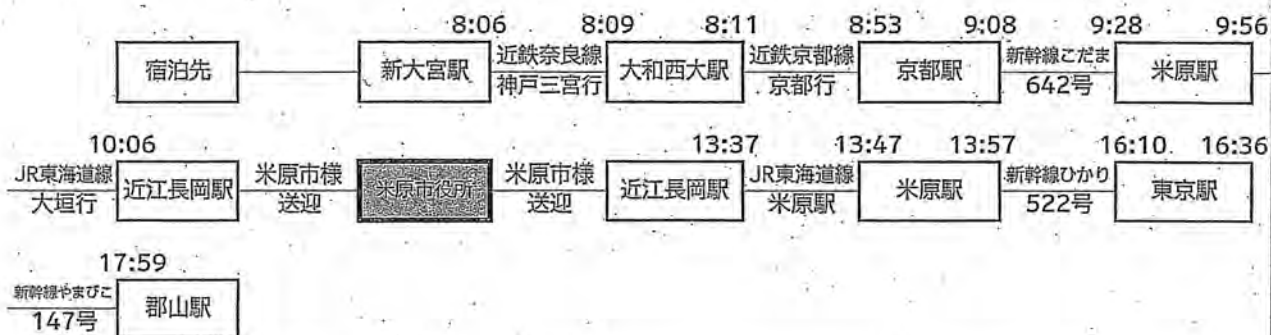
□ 2日目：平成30年1月30日（火）

奈良市：奈良市ポイント制度について



□ 3日目：平成30年1月31日（水）

米原市：地域お茶の間創造事業について



## 2 調査者

12名

佐藤 政喜	議員	(議長)
鈴木 祐治	議員	
大内 嘉明	議員	
七海 喜久雄	議員	(会長)
久野 三男	議員	
諸越 裕	議員	
塩田 義智	議員	
川前 光徳	議員	
佐藤 徹哉	議員	
大木 進	議員	
佐藤 栄作	議員	
馬場 大造	議員	

## 3 調査項目

- (1) 平成30年1月29日（月） 13:30~15:30  
藤枝市役所  
・藤枝市産学官連携推進センターについて
- (2) 平成30年1月30日（火） 13:30~15:30  
奈良市役所  
・奈良市ポイント制度について
- (3) 平成30年1月31日（水）  
米原市役所  
・地域お茶の間創造事業について

## 4 連絡先

- 藤枝市議会事務局（担当：青島様）  
〒426-8722 藤枝市岡上山1-11-1  
TEL 054-643-3552 FAX 054-646-2030
- 奈良市会事務局（担当：神戸様）  
〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1-1  
TEL 0742-34-4790 FAX 0742-35-3022
- 米原市議会事務局（担当：タガワ様）  
〒521-0292 米原市長岡1206  
TEL 0749-55-8111 FAX 0749-55-8007

## 5 その他

# 報告書

## 藤枝市：産学官連携推進センターについて

まず、産学官連携推進センターの施設整備の背景として、

課題認識 □若者の首都圏等への流出→15～24歳市外転出多い。

→大学卒業年齢の転入少ない。

□街なかの都市機能バランス→居住人口が増えている一方、教育機能、交流機能の不足。

□昼夜間の人口割合バランス→昼間少なく、夜多い、昼間の賑わい。

強み、特長 □人口増による旺盛な民間投資→9年連続転入超過 人口増加基調。

→マンション、商業施設投資増。

□まちづくり活動の活発化→ICT活用推進の産学官コンソーシアム設置。

→第3期中心市街地活性化計画へ。

□ビジネス支援機能の立地→エコノミックガーデニング推進拠点エフドア。

□産業大学の駅前立地の意向

目標として、若者世代の確実な地元定着。持続的な新たなビジネス創出。稼ぐ力向上で地方創生。

### 施設の概要

□施設の名称 藤枝市産学官連携推進センター（施設設置条例を制定）

□施設の箇所 BiVi 藤枝1階（藤枝市前島1丁目7-10）

〔借地借家法第38条に規定する建物賃貸借契約（大和リース（株））〕

〔平成29年10月1日～平成41年2月27日〕

□施設の運営管理 指定管理者による運営管理

□指定管理者 静岡産業大学グループ（学校法人 新静岡学園）

（（株）ABC Cooking Studio）

□活動交流スペース—産学官連携、市民の交流促進、人材育成、就職支援等。

□食メディアラボ—地産地消及び食育の推進、食の研究・発信。

□セミナールーム—講義、演習、会議等のスペース提供。

□事務室・相談室—経営成長及び起業創出支援、新ビジネス創出。

施設での具体的な取組みとして、

- ① 産業を育てる 地元産業の成長や起業創業支援、ビジネス創出を推進
  - 中小企業の伴奏型支援
    - ・ 藤枝市が進める中小企業支援の理念「エコノミックガーデニング」を具現化する起業創業から発達までの伴奏型支援の拠点
    - ・ 市創業支援室分室—中小企業の支援拠点（エフドア）を設置し、産業コーディネーターによるワンストップ相談窓口として機能
    - ・ お試し起業の場として短期間レンタルスペース（トライアルスペース）を設置
  - 地元企業の ICT 活用促進
    - ・ ICT の活用を促進するために産学官で組成した（藤枝 ICT コンソーシアム）の活動拠点として、様々な取組みを実施
    - ・ 地元企業に対する、ICT 導入啓発や、ICT 導入診断等を実施
    - ・ 市内全域に整備した ICT 通信網（LPWA）を活用した実証フィールド
- ② 人を育てる 次代を担う人材を育成
  - 大学による各種ビジネス講座
    - ・ ビジネス・アクティブラーニング事業（学生、市民を対象にしたビジネス体験学習）
    - ・ 市民公開講座開催事業
    - ・ 大学通常講義、ゼミ等の大学活動
  - 地域企業による各種ビジネス講座
    - ・ 食メディア研究展開事業・・・株式会社 ABC Cooking Studio（地産地消事業、食育事業、食メディア研究、公開講座等）
    - ・ ビジネスまちづくりセミナー開催事業・・・SBS 学苑（公開講座）
    - ・ 情報メディア研究展開事業・・・TOKAI ケーブルネットワーク（映像コンテンツの制作、放映）
- ③ 産業と人をつなぐ 創出した地元雇用と育成した人材のマッチングで学生等の地元定着を促進
  - 様々な交流の促進
    - ・ 企業と学生のビジネス研究・交流、就職マッチング
    - ・ 農商工連携、6次産業の交流機会の創出
    - ・ 産学官連携推進協議会の組成（具体的な取組みの実施主体）
- ④ 藤枝市×ABC Cooking Studio
  - 官民連携による地方創生（地域産業振興）
  - 企業 CSR としての発祥地への貢献

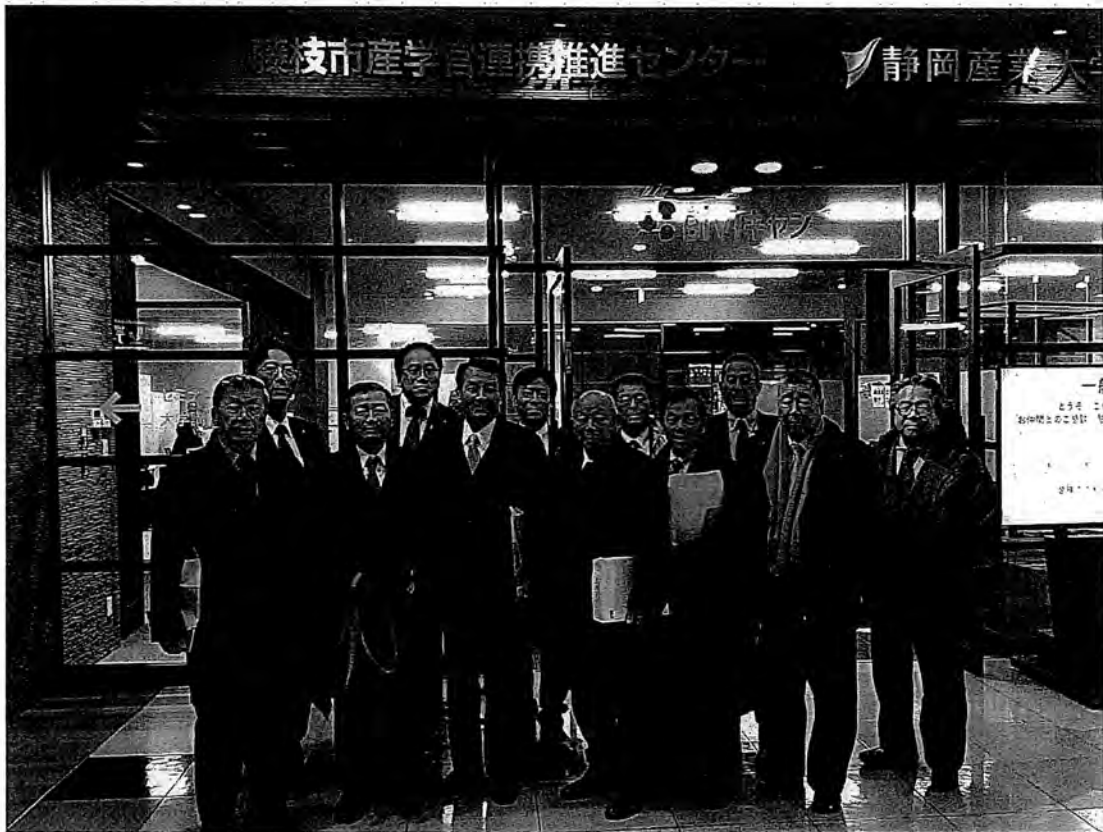


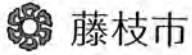
## 藤枝市と（株）ABC Cooking Studio と包括連携協定締結

### <具体的取組み>

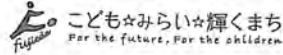
- ① 食材の地産地消、流通促進に向けたメニュー開発（地産地消による地域支援）
- ② 食育の共同研究と小学校等での展開（食育活動）
- ③ 大学も含めた食メディアの研究・展開
- ④ 食に係る市民公開講座の開催

以上が施設についての内容だが、所感として、この施設に大学や起業創業支援等の相談室が同じ施設内にあるという事が驚いたと同時に、中心市街地活性化にも繋がっていると感じた。また、ICTを活かしたまちづくりでは、全国初となるソフトバンク（株）とIOTの通信網整備に関する包括連携協定を締結し、まさに先進的な取組みだと感じた。本市においても、産総研福島再生可能エネルギー研究所やふくしま医療機器開発支援センター等の研究機関との更なる連携を図るとともに、その分野に特化した大学等との連携も視野に入れ、関連企業等の集積が成せるよう取組みを強化すべきと強く感じた。





藤枝市



子ども☆みらい☆輝くまち  
For the future, For the children

企画創生部 企画政策課長

30.1.29

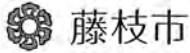
兼 ICT推進室長  
兼 病院支援局病院経営支援室長

田中 章元

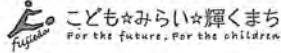
Akimoto Tanaka

〒426-8722 静岡県藤枝市岡出山一丁目11番1号  
TEL 054-643-2055 FAX 054-643-3604

Mobile [REDACTED]



藤枝市



子ども☆みらい☆輝くまち  
For the future, For the children

議会事務局

議事担当係長

遠藤 明寛

Akihiro Endo

〒426-8722 静岡県藤枝市岡出山一丁目11番1号  
TEL 054-643-3552 FAX 054-646-2030

URL <http://www.city.fujieda.shizuoka.jp>

129



FUJIEDA  
CITY

企画政策課 主幹  
兼 企画政策係長  
兼 病院支援局病院経営支援室主幹  
兼 内陸フロンティア支援担当係長

渡邊 章博

Akihiro Watanabe

宅地建物取引士  
ファイナンシャル・プランニング技能士

30.1.29

藤枝市企画創生部

426-8722 静岡県藤枝市岡出山一丁目11番1号  
TEL 054-643-2055(直通) 054-643-3111(代表)  
FAX 054-643-3604

URL <http://www.city.fujieda.shizuoka.jp/>



市の花「藤」

藤枝市議会事務局

青島悦生

〒426-8722 30.1.29  
静岡県藤枝市岡出山1-11-1

TEL (054)643-3552(直通)

FAX (054)646-2030

E-mail: [gikai@city.fujieda.shizuoka.jp](mailto:gikai@city.fujieda.shizuoka.jp)

市産学官連携推進センター 静岡産業大学 藤枝駅前キャンパス

# 藤枝市産学官連携推進センター 整備等の概要

藤枝市企画政策課

## 選ばれるまち 藤枝市

長谷部誠選手をはじめ多くのサッカー選手を輩出する藤枝市。今、子育て世代から選ばれ、未来に向けてさらに進化中です。

- **人口動態** 9年連続転入超過 ファミリー世帯の増加
- **駅前地価** 3年連続上昇率県内1位 住みやすいまちの証明



### 中心市街地活性化

#### 駅北口再開発

- タワーマンション
- 子育て支援施設
- 高齢者支援施設
- 医療モール
- 商業施設



子育て世代をターゲットにしたまちづくり

#### 駅南口再開発

- 国際観光ホテル
- 商業施設伊勢丹出店
- オフィス
- フィットネス



平成29年10月オープン  
静岡産業大学  
藤枝駅前キャンパス

### 4K重点施策

**健康** ● 特定健診受診率県内1位! ※10万以上の市

**教育** ● 全小中学校に外国人ALT配置

**環境** ● ごみ排出量 少なさ全国4位!

**危機管理** ● 公共建築物耐震化率100% 救命救急  
平成29年4月開設

### ICTを活かしたまちづくり

**人材育成** ● 全小中学校でプログラミング授業

**地域産業の成長支援**

● 全国初! 市内全域にIoT通信網構築  
公共サービスの実証実験

**働き方改革** ● 藤枝クラウドソーシング導入



20年  
2400人  
東海2位  
↓  
高板本  
長谷部誠  
村松

子育て世代にやさしいまちづくり

ICTを活用したまちづくり

# 奈良市

## 奈良市ポイント制度について

奈良市ポイント制度は、市民が市主催の事業や市指定の事業等に参加して、健康促進活動などの健康づくりやボランティア活動などの社会貢献、地域の人々との交流やスポーツ観戦をしながら貯めたポイントを、加盟店での買い物に使えたり、市の特産品や奈良交通バスのチャージ券などの特典に交換できる制度である。その種類・目的・事業ポイント数は、

- ① 長寿健康ポイント（70歳以上の市民）：高齢者の外出の機会を増やし、高齢者がいきいきと健康的な生活を送ることで、健康寿命を延ばす。

主な事業は各公民館・福祉センターで実施する高齢者を対象とした講座の受講や講演会への参加20ポイント。ウォーキングイベントやスポーツ大会等50ポイント。運転免許証の自主返納2,000ポイント。

- ② ボランティアポイント（全市民）：ボランティア活動へのきっかけづくりと地域に根差したボランティア活動を促進することで、市民参加への向上を促す。

主な事業は市が実施又は団体と協働する関連事業で市民交流サロン100ポイント。ボランティア入門講座100ポイント。各地区社協サロン活動ボランティア50ポイント。

- ③ 健康増進ポイント（全市民）：食事・運動・禁煙等、健康づくりに継続して取り組む。

主な事業は「スマートに生きるなら奈良」「住まうなら奈良」をコンセプトにSm a N A R A健康プロジェクト関連事業20～50ポイント。健康6ヶ月チャレンジで1ヶ月100ポイント。6ヶ月500ポイント。

- ④ 健康スポーツポイント（全市民）：スポーツイベントへの参加やトップスポーツの試合観戦など、スポーツに関心を持ち、健康づくりやスポーツをする機会を増やす。

主な事業は奈良クラブ、バンビシヤスならのホームゲームの試合観戦100ポイント。市が実施又は指定するスポーツイベント20～50ポイント。

これらポイント対象事業に参加する際には既に奈良市ポイントを利用している市民の登録したICカード。初めて参加される市民の交通系のICカード。さらに70歳以上の市民のななまるカードを必要とする。貯めたポイントカードの使い方として、奈良市の特産品のいちご、日本酒、お米、お茶等と交換することができる。奈良交通バスの1000円チャージ券、奈良交通のC I - C Aにチャージできる券との交換することができる。ななまるお風呂券、70歳以上の方が市内の銭湯で利用できる。加盟店での割引（1ポイント1円）、加盟店での買い物の時にポイントを使うことができる。タクシー券（500ポイントで500円）で各タクシー、介護タクシーが利用できる。

「奈良市が！毎日が！楽しくなる♪」のスローガンの下、ポイントカードを活用した地域活性化等につながる市民へのサービス等の構築は本市においてもより一層幅広い取り組みや加盟事業充実の策定がなされるべきと考える。



行政調査：奈良市

○奈良市ポイント制度について <関係者御名刺>

<p>議会議務局 奈良市二条大路南一丁目一番一号 〒630-8580 電話</p>	<p>奈良市議会議長 北良晃</p>	<p>議会議務局 奈良市二条大路南一丁目一番一号 〒630-8580 電話</p>	<p>奈良市議会副議長 三浦教次</p>
---	------------------------	---	--------------------------

リニア新駅を奈良市に！

奈良市 市民活動部  
協働推進課

課長 矢倉 靖弘  
Yagura Yasuhiro

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号  
TEL:0742-34-5193 FAX:0742-34-5194  
E-mail: [redacted]




リニア新駅を奈良市に！

奈良市 市民活動部  
協働推進課 協働推進係

係長 高岡 伸兆

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号  
TEL:0742-34-5193 FAX:0742-34-5194  
E-mail: [redacted]



# 奈良市ポイント制度

長寿健康ポイント  
ボランティアポイント  
健康増進ポイント  
健康スポーツポイント

> X 4



ななポン



ららポン

## 目的

### 長寿健康ポイント事業

担当：長寿福祉課

高齢者の外出の機会を増やし、高齢者がいきいきと健康的な生活を送ることにより、健康寿命を延ばすことを目的とする。



### ボランティアポイント事業

担当：協働推進課

ボランティア活動へのきっかけづくりと地域に根差したボランティア活動を促進して行くことで、市民参画への意識の向上を目的とする。



### 健康増進ポイント事業

担当：健康増進課

食事・運動・禁煙等、健康づくりに継続して取り組むことを目的とします。



### 健康スポーツポイント事業

担当：スポーツ振興課

スポーツイベントへの参加やトップスポーツの試合観戦など、スポーツに関心を持ち、健康づくりやスポーツをする機会を増やすことを目的とします。





この10年間、福島県はじめ全国の自治体の地域の状況が大きく変化してきた。

とりわけ社会的孤立、生活困窮問題と子供の貧困問題のひろがりには政策的な対策が必要なのはもちろんだが、暮らしの場である地域における人と人の関係性、つながりのありがたがより重要なファクターとなっている。と同時に少子高齢化のなみが押し寄せている。

全国でも同じような課題に取り組み始めている自治体が多数ある。今回の行政調査で訪れた米原市でも同様な課題を抱えている。人口減少、高齢化により自治会の運営が困難になっている状況の中で実にさまざまな工夫を実践している自治体であった。

暮らしの基盤となっている地域、暮らしの身近な地域である自治体をエリアとする小地域で、住民主体の地域福祉活動を実践している。

「高齢者や障害者など、支援を必要とする人々を地域で見守り、支える、地域とのコミュニケーションづくりをする。」このような課題を解決するために「意欲と能力がある元気な高齢者が活躍できる場づくり」を活用し、これらを同時に解決するため地域で気軽に集まる事が出来る拠点「居場所」をつくり、「互助」によるコミュニティーの構築と地域の活性化を図るために、「地域お茶の間創造事業」をスタートした。

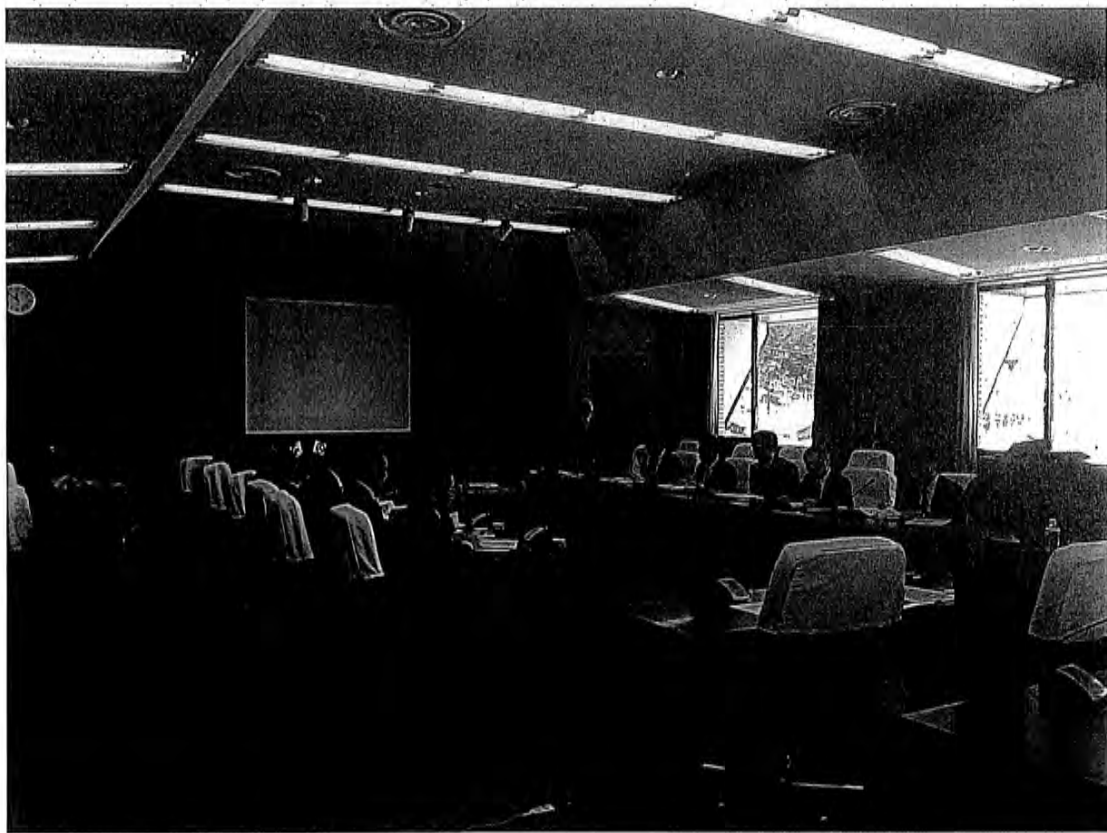
平成25年度にモデル事業として募集したところ5件募集に対して11件の応募があり、7団体の採用でスタートした。各団体に年間60万を上限に補助金をだした。使い道には制限を付けずにスタートした。まずは地域のニーズを把握することからスタートした。

地域でできるちょっとした助け合い活動からスタートした。買い出し、除雪、ゴミだし、食事の準備、片付けなどさまざまである。その後子供見守り事業もスタート。近隣の移動スーパーがきたり、1食200円のたまり場食堂を開設したり。

運営する中で課題も見えてきた。運営資金の確保、新しいスタッフの確保、参加者の固定化、設定価格の検討など、

このような住民主体の多様な支援サービスにより介護予防の働きをするようにもなった。さらに生活支援サービス事業への展開もあった。結果として市の介護費用負担が数億円減額したとのことだ。

現在郡山市では、社会福祉サービス、子育てサービス、介護予防対策など別々のメニューで進められているが、米原市のような取組も大いに参加すべきであると思った。地域のコミュニティー維持のためにもやってみる価値はあると感じた行政調査であった。





米原市議会

議長

鏑田

明

30.1.31

〒521-0292

F A X

TEL 滋賀県米原市長岡一二〇六番地



米原市

健康福祉部  
くらし支援課

課長補佐

平山 武史



米原市シンボルキャラクター

山東庁舎

〒521-0292 滋賀県米原市長岡1206番地

TEL(0749)55-8110(直通ダイヤル) FAX(0749)55-8130

E-mail fukushi@city.maibara.lg.jp

URL <http://www.city.maibara.lg.jp>

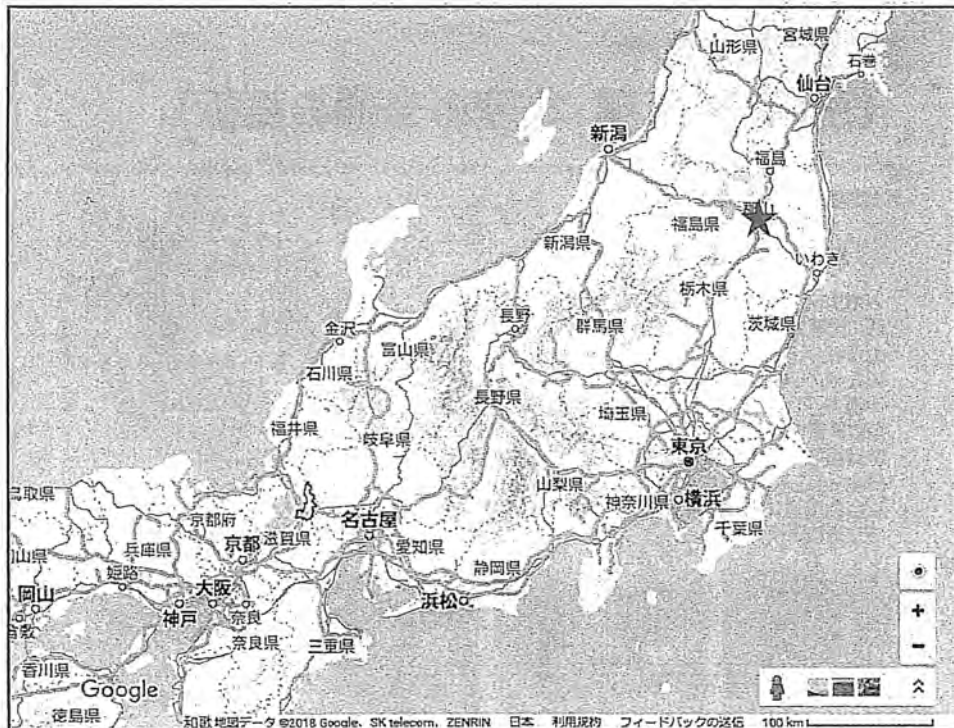
滋賀県米原市へようこそ

# 地域お茶の間創造事業について

郡山市議会 志翔会 様

2018.1.31

滋賀県米原市 健康福祉部 くらし支援課



会派名 志翔会

支出調書

代表者	経理責任者	起案者

区分	事由	費目金額				小計	
1	調査研究費	交通費		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		調査委託費		振込料	
2	研修費 地方議員研究会主催研修会 に係り旅費・受講料・振込料	会場費		講師謝金		出席者負担金・会費 <del>15000</del> 30000	
		交通費		旅費	24540	自動車燃料費	
		資料作成費		食糧費		振込料 216	
3	広報費	会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		広報誌(紙)		報告書等印刷費	
		送料(折込料含む)		ウェブページ掲載代		茶菓子代	
		振込料					
4	広聴費	会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		茶菓子代		振込料	
5	要請・陳情活動費	交通費		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		振込料			
6	会議費	会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		振込料			
7	資料作成費	印刷製本費		翻訳料		筆耕料	
		振込料					
8	資料購入費	法規追録代		参考図書代		新聞(日刊紙)購読料	
		雑誌等購読料		有料データベース等利用料		振込料	
9	人件費	賃金		社会保険料等		振込料	
10	事務所費	備品購入費		事務機器等リース代		消耗品等事務費	
		印刷代		振込料		配送手数料	
11	通信運搬・自動車燃料費	電話料等(按分)		郵便料等		自動車燃料費(按分)	
		その他					
使用者	森合香行	支出年月日	平成30年 / 月 / 2日	現金出納簿 支出番号	63	合計	54750 円

出張（調査等）申請書兼旅費請求書

支出番号 63



会 派 会 長 様

申請代表者氏名 森合秀行 

下記の用務により出張（調査等）したいので申請するとともに、旅費を請求いたします。

記

請求金額	24,540 円（1人あたり 24,540 円） ※別紙、旅費計算書のとおり	
目的	行政調査 研修	
用務先	東京都中央区 TKP東京駅八重洲カンパルスセンター	
内容	地方議員研究会主催研修会 復興防災特別講座 講師 久保田崇 立命館大学教授	
期間	平成30年 1月31日 ~ 年 月 日（泊 日）	
行程	別紙、行程表の通り	
出張（調査等）者氏名	・ 森合秀行	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
	・	・
特記事項		

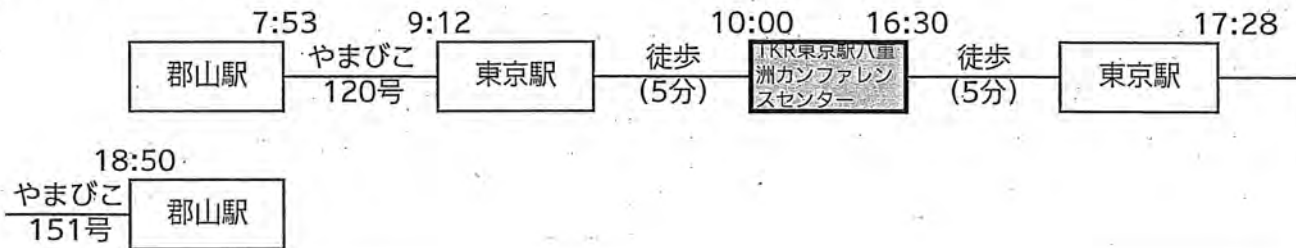
上記のとおり出張（調査等）を許可します。					
会派会長	経理責任者			受理日	30年1月12日
				許可日	30年1月12日
				支出日	30年1月12日

上記金額を受領しました。	申請代表者氏名 <u>森合秀行</u> 
30年1月12日	

平成29年度 志翔会行政調査行程表

1 行程

□平成30年1月31日(水)



2 人員 1名

森合 秀行議員

3 内容

【地方議員研究会主催研修会】

○復興・防災特別講座

- ・陸前高田市における復興の現状と課題 10:00~12:30
- ・教訓を活かした防災まちづくり 14:00~16:30

講師：久保田 崇（立命館大学教授/元・陸前高田市副市長）

4 連絡先

○地方議員研究会

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639

TEL 06-7878-6297

FAX 06-7878-6308

# 行政調査旅費計算書

会派名：志翔会

参加議員：森合 秀行

日程：平成30年1月31日（水）

行先：TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター（東京都中央区京橋1-7-1 戸田ビルディング）

1月31日	郡 山 駅	東 京 駅	郡 山 駅							
	やまびこ 120号 226.7	やまびこ 151号 226.7								
運賃	4,000	4,000								8,000
急行料金	3,680	3,680								7,360
グリーン	3,090	3,090								6,180
実費										0

運賃										0
急行料金										0
グリーン										0
実費										0

運賃										0
急行料金										0
グリーン										0
実費										0

交通費	21,540		21,540
日当	3,000 ×	1日 =	3,000
宿泊費	14,800 ×	=	0
合計			24,540円

× 1人 = 24,540円



# 地 方 議 員 研 究 会

※当社類似名称を名乗る企業、団体から案内チラシが届くとの相談が寄せられておりますが、当社とは全く関係ございません。  
テーマ、チラシレイアウト等も同じ悪質な団体もございますので、お間違いのないようによくご注意ください。

## 復興・防災 特別講座

in 京都

1月18日(木)

in 東京

1月31日(水)

10:00~12:30

### 陸前高田市における復興の現状と課題

- ・東日本大震災の被災状況
- ・副市長として経験した復興の課題
- ・復興時の自治体と議会の役割
- ・非常事態に議員はどう動くべきか

14:00~16:30

### 教訓を活かした防災まちづくり

- ・陸前高田市の震災対応検証で得られたこと
- ・課題先進地からの地方創生の取り組み
- ・東日本大震災の教訓を貴方の街にどう活かすか
- ・地震、水害などの際に避難勧告をどう出すか

久保田 崇 くぼた たかし

立命館大学教授 / 元・陸前高田市副市長

1976年静岡県掛川市生まれ。2001年内閣府入府。ニート対策を内容とする「子ども・若者育成支援推進法」の制定等に携わる。ボランティア活動をきっかけとして、2011年から2015年まで岩手県陸前高田市副市長。日本心理カウンセラー協会正会員。英ケンブリッジ大学経営学修士(MBA)。主な著書に「官僚に学ぶ仕事術」(マイナビ新書)「キャリア官僚の交渉術」(アスコム)等。



支出明細書兼支出証明書

支出番号 63

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	② 研修費	3 広報費	4 広聴費		出席者負担金・会費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費(郵便料等)			※該当する支出費目を記入	
支出目的 (支出事由)		行政調査 研修 地方議員研究会主催研修会 復興防災特別講座 受講料			
内 容		地方議員研究会主催研修会 復興・防災特別講座 ・陸前高田市における復興の現状と課題 ・教訓を活かした防災まちづくり 講師:久保田崇 立命館大学教授			
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
30年/10月9日	地方議員研究会		30,000 <del>75,000</del> 円		
上記のとおり支出します。					
議員氏名 森合秀行					

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

原本

JKR 宛

ご利用明細票

お取扱日	店番	お取引内容
30-01-09		通帳送金
記号	番号	
*****		
取扱番号	お取引金額	
N243	*30,000	
	残高	
楽天銀行 第二営業支店 普通 7520919 シヤ)チホウキ*インケンキウカイ		
送金料金 *216円 振込予定日 30-01-10 シシヨウカイ モリアイヒテ*ユキ		

ご利用いただきましてありがとうございました。

ゆうちょ銀行

ご利用明細票

お取扱日	店番	お取引内容
30-01-09		通帳送金
記号	番号	
*****		
取扱番号	お取引金額	
N243	*30,000	
	残高	
楽天銀行 第二営業支店 普通 7520919 シヤ)チホウキ*インケンキウカイ		
送金料金 *216円 振込予定日 30-01-10 シシヨウカイ モリアイヒテ*ユキ		

ご利用いただきましてありがとうございました。

ゆうちょ銀行

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

# 地方議員研究会

※当社類似名称を名乗る企業、団体から案内チラシが届くとの相談が寄せられておりますが、当社とは全く関係ございません。  
テーマ、チラシレイアウト等も同じ悪質な団体もごさいますので、お間違いのないようにくれぐれもご注意ください。

## 復興・防災 特別講座

in 京都

1月18日(木)

in 東京

1月31日(水)

10:00~12:30

### 陸前高田市における復興の現状と課題

- ・東日本大震災の被災状況
- ・副市長として経験した復興の課題
- ・復興時の自治体と議会の役割
- ・非常事態に議員はどう動くべきか

14:00~16:30

### 教訓を活かした防災まちづくり

- ・陸前高田市の震災対応検証で得られたこと
- ・課題先進地からの地方創生の取り組み
- ・東日本大震災の教訓を貴方の街にどう活かすか
- ・地震、水害などの際に避難勧告をどう出すか

久保田 崇 くぼた たかし

立命館大学教授 / 元・陸前高田市副市長

1976年静岡県掛川市生まれ。2001年内閣府入府。ニート対策を内容とする「子ども・若者育成支援推進法」の制定等に携わる。ボランティア活動をきっかけとして、2011年から2015年まで岩手県陸前高田市副市長。日本心理カウンセラー協会正会員。英ケンブリッジ大学経営学修士(MBA)。主な著書に「官僚に学ぶ仕事術」(マイナビ新書)「キャリア官僚の交渉術」(アスコム)等。



平成30年1月10日

郡山市議会  
森合 秀行様

地方議員研究会  
セミナー事務局  
電話 06-7878-6297  
FAX 06-7878-6308

## 入金確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。

受講料のお振込みを下記のとおり確認いたしました。

領収証は、当日会場にてお渡しいたします。

ご宿泊施設につきましては、恐れ入りますが各自でご手配ください。  
当日のご参加をお待ちいたしております。

### 記

- ・受講日 平成30年1月31日10:00~12:30、1月31日14:00~16:30（東京）
- ・受講料 30,000円
- ・領収証宛名 ご本人様名
- ・お振込み日 平成30年1月10日
- ・お振込み名義人 志翔会 森合秀行様

※当日は会場1階の案内をご覧の上、会議室までお越しください。

平成29年12月25日

郡山市議会  
森合 秀行様

地方議員研究会  
セミナー事務局  
電話 06-7878-6297  
FAX 06-7878-6308

## 受講確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。

お申込みいただきました内容を下記のとおりご確認申し上げます。  
つきましては、お確かめのうえ、事前に受講料のお振込みをお願いいたします。

お申込みをいただきました時点で、お席は確保させていただいております。  
キャンセルの場合は、必ずご連絡をお願いいたします。  
お振込み確認後、入金確認のご連絡をいたします。  
領収証は、当日会場にてお渡しいたします。

ご宿泊施設につきましては、恐れ入りますが各自でご手配ください。  
当日のご参加をお待ちいたしております。

## 記

- ・受講日 平成30年1月31日10:00~12:30、1月31日14:00~16:30（東京）
- ・受講料 1講座 15,000円 × 2講座 = 30,000円
- ・領収証宛名 ご本人様名

【受講料 お振込み口座】  
楽天銀行 第二営業支店  
普通 7520919  
名義 (社)地方議員研究会

支出明細書兼支出証明書

支出番号 63

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	② 研修費	3 広報費	4 広聴費		振込料
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）				
支出目的 (支出事由)	研修 地方議員研究会主催研修会 復興・防災特別講座 振込料				※該当する支出費目を記入
内 容	地方議員研究会主催研修会 復興・防災特別講座 （陸前高田市におき復興の現状と課題 （教訓を活かした防災まちづくり） 講師 久保田卓立 命館大学教授				
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
30年1月10日	ゆうちょ銀行 <del>地方議員研究会</del>		216 円		
上記のとおり支出します。					
議員氏名 森合秀行 (印)					

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

2020年

ご利用明細票

お取扱日	店番	お取引内容
30-01-09		通帳送金
記号	番号	
*****	*****5701	
取扱番号	お取引金額	
N243	*30,000	
	残高	
楽天銀行 第二営業支店 普通 7520919 シヤ)チホウキ インケンキユウカイ		
送金料金 *216円 振込予定日 30-01-10 シシヨウカイ モリアイヒデユキ		

ご利用いただきましてありがとうございました。

ゆうちょ銀行

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

# 地方議員研究会

※当社類似名称を名乗る企業、団体から案内チラシが届くとの相談が寄せられておりますが、当社とは全く関係ございません。  
テーマ、チラシレイアウト等も同じ悪質な団体もごいますので、お間違いのないようにくれぐれもご注意ください。

## 復興・防災 特別講座

in 京都

1月18日(木)

in 東京

1月31日(水)

10:00~12:30

### 陸前高田市における復興の現状と課題

- ・東日本大震災の被災状況
- ・副市長として経験した復興の課題
- ・復興時の自治体と議会の役割
- ・非常事態に議員はどう動くべきか

14:00~16:30

### 教訓を活かした防災まちづくり

- ・陸前高田市の震災対応検証で得られたこと
- ・課題先進地からの地方創生の取り組み
- ・東日本大震災の教訓を貴方の街にどう活かすか
- ・地震、水害などの際に避難勧告をどう出すか

久保田 崇 くぼた たかし

立命館大学教授 / 元・陸前高田市副市長

1976年静岡県掛川市生まれ。2001年内閣府入府。ニート対策を内容とする「子ども・若者育成支援推進法」の制定等に携わる。ボランティア活動をきっかけとして、2011年から2015年まで岩手県陸前高田市副市長。日本心理カウンセラー協会正会員。英ケンブリッジ大学経営学修士(MBA)。主な著書に「官僚に学ぶ仕事術」(マイナビ新書)「キャリア官僚の交渉術」(アスコム)等。



平成30年1月10日

郡山市議会  
森合 秀行様

地方議員研究会  
セミナー事務局  
電話 06-7878-6297  
FAX 06-7878-6308

## 入金確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。

受講料のお振込みを下記のとおり確認いたしました。

領収証は、当日会場にてお渡しいたします。

ご宿泊施設につきましては、恐れ入りますが各自でご手配ください。  
当日のご参加をお待ちいたしております。

### 記

- ・受講日 平成30年1月31日10:00~12:30、1月31日14:00~16:30（東京）
- ・受講料 30,000円
- ・領収証宛名 ご本人様名
- ・お振込み日 平成30年1月10日
- ・お振込み名義人 志翔会 森合秀行様

※当日は会場1階の案内をご覧の上、会議室までお越しください。



平成29年12月25日

郡山市議会  
森合 秀行様

地方議員研究会  
セミナー事務局  
電話 06-7878-6297  
FAX 06-7878-6308

## 受講確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。

お申込みいただきました内容を下記のとおりご確認申し上げます。  
つきましては、お確かめのうえ、事前に受講料のお振込みをお願いいたします。

お申込みをいただきました時点で、お席は確保させていただいております。  
キャンセルの場合は、必ずご連絡をお願いいたします。  
お振込み確認後、入金確認のご連絡をいたします。  
領収証は、当日会場にてお渡しいたします。

ご宿泊施設につきましては、恐れ入りますが各自でご手配ください。  
当日のご参加をお待ちいたしております。

## 記

- ・受講日 平成30年1月31日10:00~12:30、1月31日14:00~16:30（東京）
- ・受講料 1講座 15,000円 × 2講座 = 30,000円
- ・領収証宛名 ご本人様名

【 受講料 お振込み口座 】  
楽天銀行 第二営業支店  
普通 7520919  
名義 (社)地方議員研究会













出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号 63

会 派 会 長 様

下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。


出張（調査等）議員名

・森合 秀行		・	
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

記

期 間	30 年 1 月 31 日 ~ 年 月 日 ( 日帰り )				
目 的	研修				
用 務 先	東京都中央区				
	TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター				
行 程	別紙行程表のとおり				
内容及び成果	地方議員研究会主催研修会				
	復興・防災特別講座 講師：久保田崇立命館大学教授 (別紙のとおり)				
旅 費 精 算	受領額	24,540 円	精算額	24,540 円	返納額 0 円

上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。

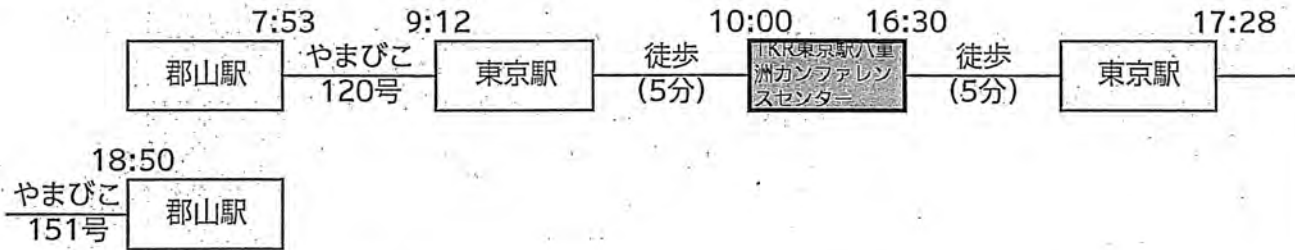
会 派 会 長	経 理 責 任 者		受 理 日	30 年 2 月 / 日
			確 認 日	30 年 2 月 / 日
			精 算 日	30 年 2 月 / 日

※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

平成29年度 志翔会行政調査行程表

1 行程

□平成30年1月31日(水)



2 人員 1名

森合 秀行議員

3 内容

【地方議員研究会主催研修会】

○復興・防災特別講座

- ・陸前高田市における復興の現状と課題 10:00~12:30
- ・教訓を活かした防災まちづくり 14:00~16:30

講師：久保田 崇（立命館大学教授/元・陸前高田市副市長）

4 連絡先

○地方議員研究会

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639

TEL 06-7878-6297

FAX 06-7878-6308

石井文  
志翔会行政調査報告  
地方議員研究会主催 復興・防災特別講座

平成 30 年 1 月 31 日実施

東京駅から徒歩約 5 分にある京橋の会場において、陸前高田市で副市長を務め、現在立命館大学教授である久保田崇氏を講師に復興・防災特別講座が行われた。まず、講師の経歴の紹介の後、講義の説明に入った。

午前の部では、講師の東日本大震災における陸前高田市副市長の経験を踏まえた復興の現状と課題について解説を受けた。久保田氏は、かつての勤務先だった内閣府の上司で、震災当時、佐賀県武雄市長だった樋渡市長の縁を通じて、震災で妻を亡くした戸羽太陸前高田市長に請われる形で副市長に就任したとのことだった。陸前高田市自体の被災状況は、職員 300 人のうち 70 人以上、議員 21 人のうち 2 名が死亡、市民全体の犠牲者率も 7%、建物の全壊も 30%と深刻なものだった。この点に関して、震災当時の被災状況をスライドで拝見したが、自然災害の驚異と恐ろしさを思い知らされると同時に行政が住民の命を守るための日頃からの備えの大切さを思い知らされた。そこで、議会が災害時どうあるべきなのかということで、大津市議会の BCP（業務継続継続計画）など先進地の紹介があり午前の説明が終わった。

次に午後の部では、教訓をいかした防災まちづくりと題して講義を受けた。まず、陸前高田市における東日本大震災の経験から①避難がなりより重要②避難所に逃げたら終わりではない③公的な役割を持つ人の安全確保④災害に強い安全なまちづくり⑤社会的弱者が逃げ遅れないような社会⑥防災の心得という 6 つの教訓を示して解説された。さらに地域防災計画についての解説があった。地域防災計画について久保田教授は、陸前高田市での経験を踏まえ法律の定め通りに毎年防災計画を更新すべきと力説されていた。

最後に課題先進地からの地方創生の取り組みというテーマで、現在立命館大学で研究されている内容も交えながら解説された。復興ツーリズムの展開として例えば陸前高田市では、世界中で有名になった沿岸部にある奇跡の一本松の公園化と道の駅の整備、人口減少等「課題先進地」への富士通など大企業の新人研修、高校生の修学旅行先としてといった観光での取り組みについての話と今後のインバウンド需要を考えた上での地方空港の役割についての説明があった。

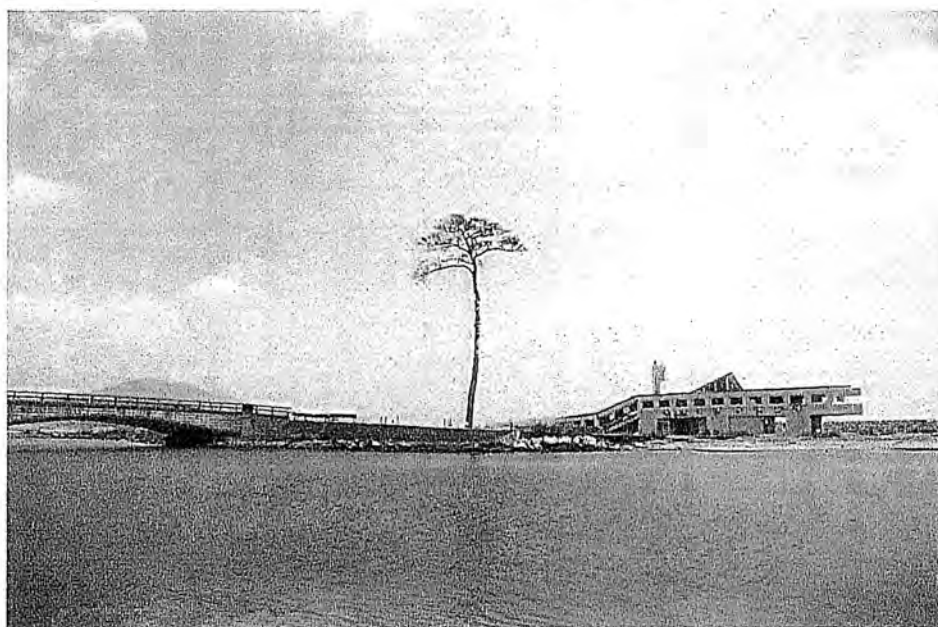
午前・午後の講義を通じて感じたのは、本市でも東日本大震災、東電福島原発爆発事故の原子力災害を経験し、また水害が発生しやすい阿武隈川を抱えている中、議会や議員が災害時どのように行動すべきか明確な基準を定めて行動できる体制作りが必要だと痛感させられた研修であった。

午前の部

※本資料の私見については個人に属する見解です

# 【復興・防災特別講座】

## ～陸前高田市における復興の現状と課題～



2018年1月31日 久保田 崇  
立命館大学公共政策大学院 公務研究科教授  
(元陸前高田市副市長/元内閣府参事官補佐)

午後の部

※本資料の私見については個人に属する見解です

# 【復興・防災特別講座】 ～教訓を活かした防災まちづくり～



2018年1月31日 久保田 崇  
立命館大学公共政策大学院 公務研究科教授  
(元陸前高田市副市長/元内閣府参事官補佐)

会派名

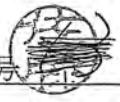
志翔会

支出調書


代表者	経理責任者	起案者
		

区分	事由	費目金額				小計		
1	調査研究費	行政調査(長野市、江戸川区)旅費	交通費		旅費	336,000	自動車燃料費	336,000
			資料作成費		調査委託費		振込料	
2	研修費		会場費		講師謝金		出席者負担金・会費	
			交通費		旅費		自動車燃料費	
			資料作成費		食糧費		振込料	
3	広報費		会場費		交通費		自動車燃料費	
			資料作成費		広報誌(紙)		報告書等印刷費	
			送料(折込料含む)		ウェブページ掲載代		茶菓子代	
			振込料					
4	広聴費		会場費		交通費		自動車燃料費	
			資料作成費		茶菓子代		振込料	
5	要請・陳情活動費		交通費		旅費		自動車燃料費	
			資料作成費		振込料			
6	会議費		会場費		交通費		自動車燃料費	
			資料作成費		振込料			
7	資料作成費		印刷製本費		翻訳料		筆耕料	
			振込料					
8	資料購入費		法規追録代		参考図書代		新聞(日刊紙)購読料	
			雑誌等購読料		有料データベース等利用料		振込料	
9	人件費		賃金		社会保険料等		振込料	
10	事務所費		備品購入費		事務機器等リース代		消耗品等事務費	
			印刷代		振込料		配送手数料	
11	通信運搬・自動車燃料費		電話料等(按分)		郵便料等		自動車燃料費(按分)	
			その他					
使用者	佐藤栄作 	支出年月日	平成30年 1月 15日	現金出納簿 支出番号	67	合計	336,000 円	

出張（調査等）申請書兼旅費請求書

支出番号  67

会 派 会 長 様



申請代表者氏名 佐藤 栄作 

下記の用務により出張（調査等）したいので申請するとともに、旅費を請求いたします。

記


請求金額	336,000円 (1人あたり 56,000円) ※別紙、旅費計算書のとおり	
目的	行政調査	
用務先	① 長野市、長野市役所 ② 江戸川区、江戸川区役所	
内容	① 長野市・健康長寿のまち「ながの」への取り組みについて ② 江戸川区・子ども未来館について・篠崎子ども図書館について	
期間	平成30年 1月 22日 ~ 平成30年 1月 23日 (1泊 2日)	
行程	別紙のとおり	
出張(調査等)者氏名	・鈴木 祐治 ・大内 嘉明 ・諸越 裕 ・佐藤 徹哉 ・大木 進 ・佐藤 栄作	・ ・ ・ ・ ・ ・
特記事項		

上記のとおり出張（調査等）を許可します。

会派会長	経理責任者		受理日	平成30年 1月 15日
			許可日	平成30年 1月 15日
			支出日	平成30年 1月 15日

上記金額を受領しました。

平成30年 1月15日

申請代表者氏名 佐藤 栄作 



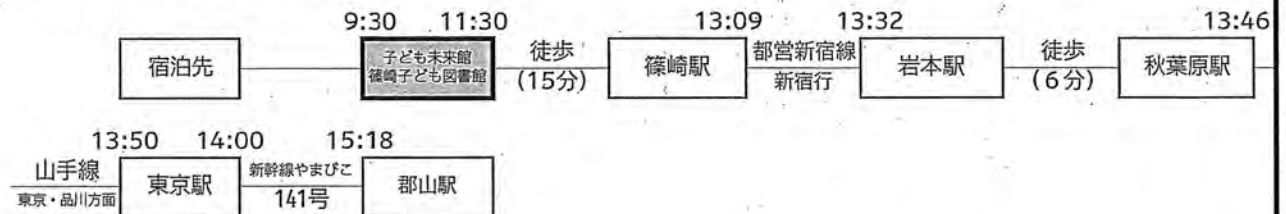
# 平成29年度 志翔会行政調査行程表

## 1 行程

□ 1日目：平成30年1月22日（月） **長野市：健康長寿のまち「ながの」への取組みについて**



□ 2日目：平成30年1月23日（火） **江戸川区：子ども未来館について**



## 2 調査者 6名

鈴木 祐治 議員  
大内 嘉明 議員  
諸越 裕 議員  
佐藤 徹哉 議員  
大木 進 議員  
佐藤 栄作 議員

## 3 調査項目

- (1) 平成30年1月22日（月） 13:30～15:30  
長野市役所  
・健康長寿のまち「ながの」への取組みについて
- (2) 平成30年1月23日（火） 9:30～11:30  
江戸川区役所  
・子ども未来館について

## 4 連絡先

○長野市会事務局  
〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地  
TEL 026-224-5057

○江戸川区議会事務局（担当：山辺様）  
〒132-8501 東京都江戸川区中央1丁目4番1号  
TEL 03-5662-6736

## 5 その他

# 行政調査旅費計算書

会 派 名 : 志翔会

参加議員 : 鈴木祐治、大内嘉明、諸越裕、佐藤徹哉、大木進、佐藤栄作

日 程 : 平成30年1月22日(月) - 23日(火)

行 先 : 長野市役所(長野市大字鶴賀緑町1613番地)  
江戸川区役所(東京都江戸川区中央1丁目4番1号)

1月22日	郡山	大宮	長野	東京	秋葉原	岩本	篠崎		
	やまびこ 210号 196.4	はくたか 559号 192.1	はくたか 568号 222.4	JR山手線 2.0	徒歩 (6分)	都営新宿線 13.4			
運賃	6,480		4,000			※			10,480
急行料金	2,590	2,590	2,590						7,770
グリーン	2,060	2,060	2,060						6,180
実費									0

※区間は交通雑費で対応

1月23日	篠崎	岩本	秋葉原	東京	郡山				
	都営新宿線 13.4	徒歩 (6分)	JR山手線 2.0	やまびこ 141号 226.7					
運賃	※		4,000						4,000
急行料金				3,680					3,680
グリーン				3,090					3,090
実費									0

※区間は交通雑費で対応

運賃									0
急行料金									0
グリーン									0
実費									0

交通費	35,200		35,200	
日当	3,000 ×	2日 =	6,000	
宿泊費	14,800 ×	1泊 =	14,800	
合計			56,000 円	× 6名 = 336,000 円







出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号 64

会 派 会 長 様

下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。



出張（調査等）議員名

・鈴木 祐治		・	印
・大内 嘉明		・	印
・諸越 裕		・	印
・佐藤 徹哉		・	印
・大木 進		・	印
・佐藤 栄作		・	印

記

期 間	平成30年 1月 22日 ～平成30年 1月 23日（1泊 2日）					
目 的	行政調査					
用 務 先	① 長野市					
	② 江戸川区					
行 程	別紙行程表のとおり					
内容及び成果	別紙のとおり					
旅 費 精 算	受領額	336,000 円	精算額	336,000 円	返納額	0 円

上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。

会 派 会 長	経 理 責 任 者		受 理 日	平成30年 1月 29日
			確 認 日	平成30年 1月 29日
			精 算 日	平成30年 1月 29日

※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

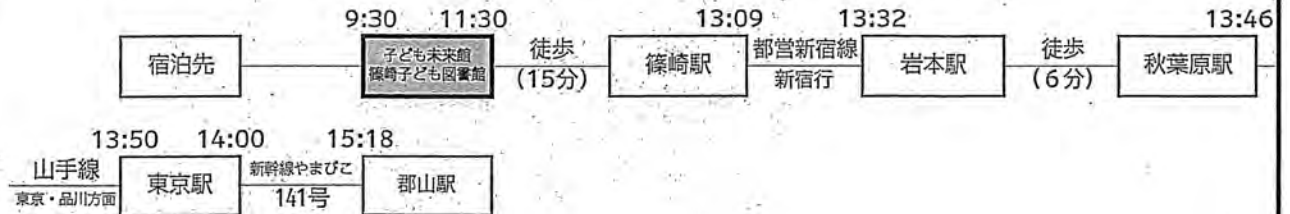
# 平成29年度 志翔会行政調査行程表

## 1 行程

□ 1日目：平成30年1月22日（月） 長野市：健康長寿のまち「ながの」への取組みについて



□ 2日目：平成30年1月23日（火） 江戸川区：子ども未来館について



## 2 調査者

6名

鈴木 祐治 議員  
 大内 嘉明 議員  
 諸越 裕 議員  
 佐藤 徹哉 議員  
 大木 進 議員  
 佐藤 栄作 議員

## 3 調査項目

- (1) 平成30年1月22日（月） 13:30～15:30  
 長野市役所  
 ・健康長寿のまち「ながの」への取組みについて
- (2) 平成30年1月23日（火） 9:30～11:30  
 江戸川区役所  
 ・子ども未来館について

## 4 連絡先

○長野市会事務局  
 〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地  
 TEL 026-224-5057

○江戸川区議会事務局（担当：山辺様）  
 〒132-8501 東京都江戸川区中央1丁目4番1号  
 TEL 03-5662-6736

## 5 その他

## 長野市

### 健康長寿なまち「ながの」への取組について

長野市は人口380,473人、世帯数159,371、0～14歳人口13.0%、15～64歳人口58.5%、65歳以上人口28.9%で男性の平均寿命81.1歳、健康寿命80.08歳。女性の平均寿命87.2歳、健康寿命84.39歳と長寿日本一を誇っている。何も対策をしないでこのような結果を残せるはずがなく、長年の地道な活動がようやく実を結んだ結果であるといえよう。

健康長寿の要員となるものとして①高齢者の就業者が高く、生きがいを持って生活している。(高齢者就業率26.7%)②に野菜摂取量が多い。(一人一日あたり男性379g・女性353g)③健康ボランティアによる自主的な健康づくりへの取組みが活発。(食生活改善推進員、保健指導員)④専門職による地域の保健医療活動が活発。(保健師数人口10万人あたり61.9人)

少子高齢化を迎えている現状からさらなる市民の健康寿命の更なる延伸を目標とし、第三次長野市健康増進計画・食育推進計画「長野健やかプラン21」を策定、その計画期間は平成29年度から平成34年度の6年間である。すべての市民が支え合い、健やかで心豊かな暮らしを実感できるまちをめざしての基本理念を基に特に市民等との協働による推進活動では、健康ウォーキングで糖尿病予防をPR。又節度ある適度な飲酒を〜該当啓発。これらは市民組織や健康づくりボランティアとコラボ、課・係・業務分担担当保健師とが知恵をしばって企画している。具体的には健康を増進させる基本的要素となる「身体活動・運動・スポーツ」「栄養・食生活、食育」「こころの健康・休養」「喫煙」「飲酒」「歯・口腔の健康」に関する生活習慣の改善に取り組む。次にがん、循環器疾患、糖尿病などNCD(非感染性疾患)の発症リスクとなる危険因子への対処のための生活習慣改善に加えて、生活習慣病の発症予防と重症化予防に取り組む。更に、個人の健康は、家庭・地域・学校・職場などの社会環境の影響を大きく受けることから、社会全体として相互に支え合いながら健康を守る環境の整備に取り組む。以上が計画の基本的方向である。

幸せ実感都市「ながの」では、ハッピーかみんぐ1・2・30、ながのベジライフ宣言「健康でハッピー。人生エンジョイ。」をし、生活習慣病の予防に市民とともに取り組んでいる。かみんぐ1は、食事の1番はじめは野菜から食べよう。かみんぐ2は、毎食握りこぶし2つ分の野菜料理とバランスのよい食事。かみんぐ30は、一口30回よく噛んでおいしく味わおう、食事30分後に意識してからだを動かそう。これら1・2・30の実践は、食後の急激な血糖値の上昇を抑え、生活習慣病による合併症を防ぐ効果が期待でき、さらに高齢期の低栄養にも心配りができる。長野市の健康取り組みを参考にし、本市においての食に関する生活習慣の改善と保健・医療・福祉サービス等の社会環境の向上を図り、健康寿命の延伸や健康格差の縮小により一層の努力を重ねることが課題と言えよう。

行政調査：長野市

○健康長寿なまち「ながの」への取組みについて <関係者御名刺>

長野市役所 保健福祉部  
長野市保健所健康課 健康づくり担当

課長 こしの みちこ  
補佐 越野 美智子  
(保健師)

〒380-0928  
長野県長野市若里6丁目6番地1  
TEL 026-226-9960 (代表)  
026-226-9961 (直通)  
FAX 026-226-9982



ながのご縁を  
信都・長野市



長野市保健所 健康課  
健康づくり担当

理学療法士 池田 あゆ美

〒380-0928 長野市若里六丁目6番1号  
TEL (026)226-9961  
FAX (026)226-9982  
e-mail h-kenkou@city.nagano.lg.jp

ながのご縁を  信都・長野市



長野市議会事務局  
総務議事調査課

課長 宮 尾 正 彦

〒380-8512  
長野市大字鶴賀縁町1613番地  
電話(026)224-5057  
FAX(026)224-5105  
Email:gikai@city.nagano.lg.jp



# 長野市の状況



幸せ実感都市  
「ながの」

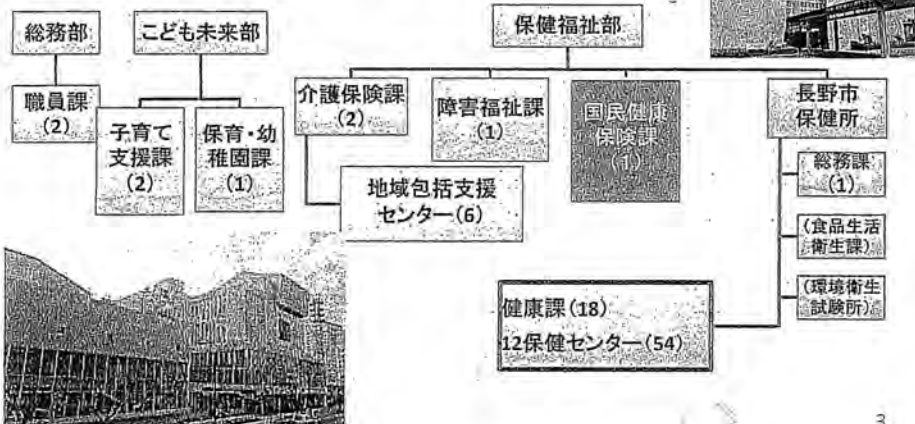
～「オールながの」で未来を創造しよう～

長野市保健所健康課健康づくり担当

## 長野市保健師の配置 (H29年4月現在)

平成11年～中核市移行により長野市保健所設置

( )は保健師数:計82名(正規)



## 長野市概況

(H29.4.1現在)



人口: 380,473人  
世帯数: 159,371  
0～14歳人口: 13.0%  
15～64歳人口: 58.5%  
65歳以上人口: 28.9%

出生数: 2,952人

健康課

保健師: 72名 管理栄養士: 4名

理学療法士: 1名 歯科衛生士: 2名



32地区: 1保健所、12保健センター、6支所駐在





## 報告書

### 江戸川区：子ども未来館について、篠崎子ども図書館について

子ども未来館は、平成 22 年 4 月 29 日に開館した。子どもライブラリー（1 階）と子どもアカデミー（2 階）があり、子どもライブラリーは、子どものための図書館で（篠崎子ども図書館）「本の閲覧・貸出」や「本から生まれる楽しい図書活動」をすることができる。子どもアカデミーは、身の回りの不思議なことや調べたいことなどの「学び活動」や「探究活動」をする基地で、ライブラリーの「おはなし会」や「絵本づくり」をアカデミーでやってみたり、アカデミーの「調べ活動」や「探究活動」をライブラリーでやってみたりもする施設で、屋上には、屋上菜園や太陽光パネル、風力発電装置が設置されている。元々は公立図書館だったとの事。子どもアカデミーでは、小学生が楽しく学べるさまざまなプログラムを行っており、動植物や自然など身のまわりの不思議を調べたり、実験観察を行ったりする自然科学分野、地域の環境や社会のしくみについて知識を深めたり、表現活動やものづくりなどを行ったりする人文・芸術分野など、幅広いテーマを体験的に学ぶ。知識だけでなく、なぜそうなるのかを共に考え、五感を使い実際に体験をすることで、子ども達の知的好奇心や探究心を育み、自分で考える力と豊かな感性を養うことを目指している。水と緑に囲まれた江戸川区の自然環境は、子どもアカデミーにとって大切な学びのフィールドであり、時には子ども未来館の教室を飛び出して、豊かな自然を教材として活動している。また、プログラムのお手伝いをしてくれる地域のボランティアのみなさんとかかわりも、子どもアカデミーの大きな特徴のひとつである。専門的な知識を持つ大学、企業、NPO 等の専門講師のほか、知識・技能を有する区民の方々や、活動を見守ってくれるボランティアの活躍は、子どもアカデミーでの活動を支えると同時に、子どもたちの社会性の育成にも深く貢献しているとの事で、実際に行政調査時に、地元の中学生在が講師となり、我々に様々な化学実験の手ほどきをして頂き、大変貴重な体験をさせてもらったと同時に、ボランティア等地域ぐるみで子どもたちをサポートしている取り組みはすばらしいと感じた。昨今人と人との繋がりが希薄になっている世の中だが、この子ども未来館を通じて地域住民等が子どもたちと関わりを持つ事で、人と人との繋がりが広がると同時に、子どもたちの見守り隊ともなる取り組みだと感じた。本市においても、既存の施設を活用しながら、地域住民等と子どもたちが集い、様々な学びを体験できるような取り組みを推進すべきと考える。



江戸川区役所

文化共育部健全育成課  
子ども未来館



館長 ふじ わら たつ や  
藤原 達也

〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町3丁目12番10号  
TEL 03-5243-4011 FAX 03-5243-6811  
<http://www.city.edogawa.tokyo.jp/miraikan/index.html>  
E-mail: [REDACTED]

TRC

館長  
吉井 潤



MARUZEN CHI  
Holdings

江戸川区立篠崎子ども図書館  
〒133-0061 江戸川区篠崎町3-12-10  
TEL 03-5664-2011 FAX 03-5243-6811  
E-mail: [REDACTED]



江戸川区

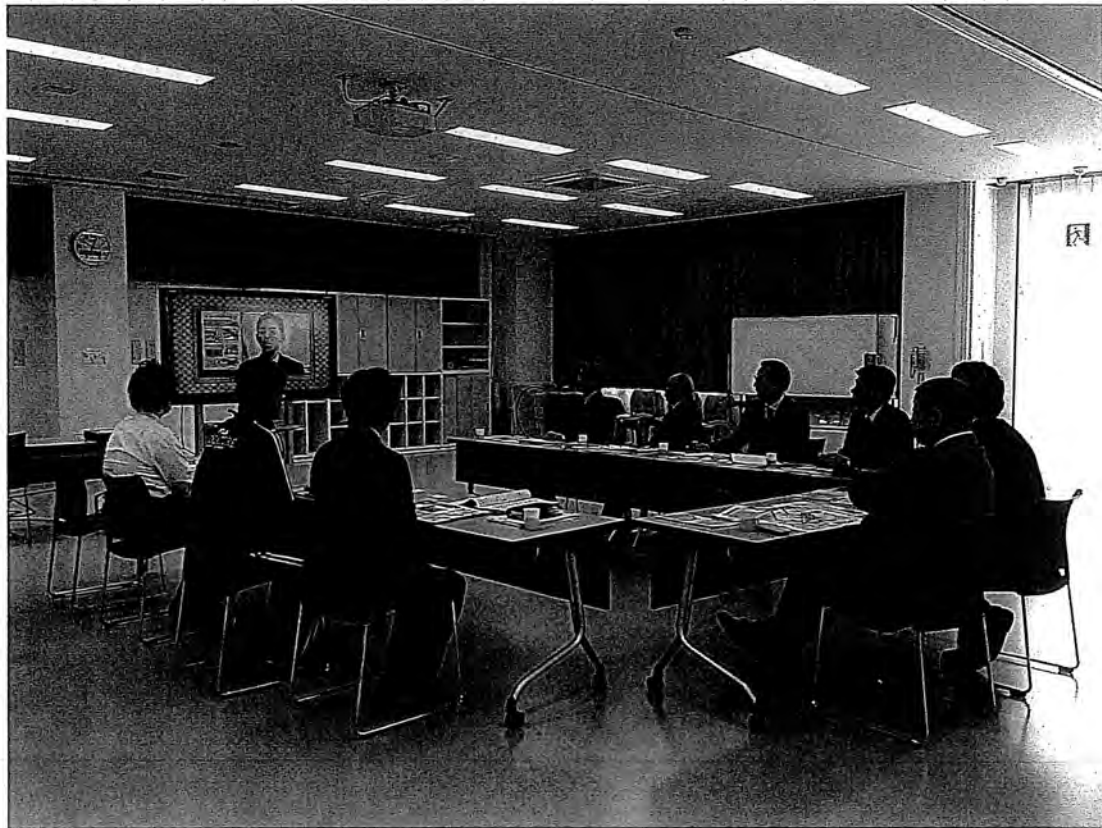
文化共育部 健全育成課



HOST CITY

課長 い ぐさ こう いち  
蘭 草 光 一

〒132-8501 東京都江戸川区中央1-4-1  
電話03-5662-8637(直通) FAX03-5607-5151  
URL <http://www.city.edogawa.tokyo.jp/>  
E-mail: [REDACTED]





つくすくすく  
もとの 心やいの  
企画は作れは?

地域をたぐる  
観察

ボランティア等  
地域をたぐる  
子供 学びの場  
をたぐる

区民講師  
専門講師  
ボランティア



小学生対象  
土・日・月  
4.11. 夏休等

児童館

江戸川区子ども未来館(篠崎子ども図書館)は平成22年4月29日に開館しました。  
 子どもライブラリーと子どもアカデミーがあります。  
 子どもライブラリーは、子どものための図書館で『本の閲覧・貸出』や『本から生まれる楽しい  
 図書活動』をすることができます。  
 子どもアカデミーは、身の回りの不思議なことや調べたいことなどの『学び活動』や『探究活動』  
 をする基地です。



子ども未来館  
170年度



江戸川区 子ども未来館

